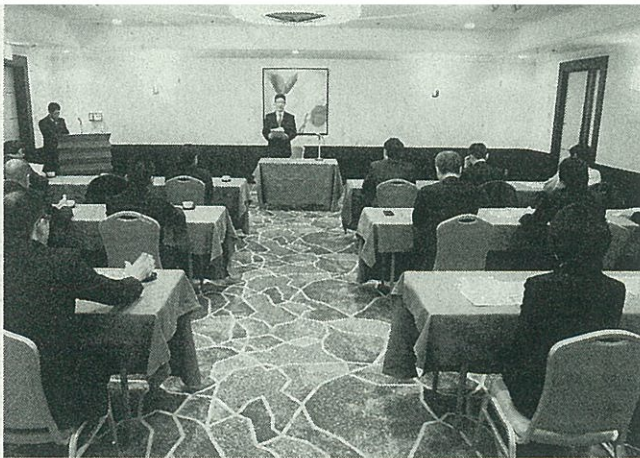


HGCが労働安全衛生大会開く

北陸ガラス外装クリーニング協会（齋藤富治会長 略称「HGC」）は14日、富山市の富山第一ホテルで、15年度労働安全衛生大会を開いた。

この日は、北陸3県から17人が参加。冒頭、杉本健一安全教育委員長が、「1月1日からロープ高所作業の労働安全衛生規則が改正された。高所ロープ作業の労災では重篤なケースが多い。事故要因を共有し、高い安全意識を持って業務に反映させてほしい」と述べた上で、「改正の肝は従来の現場任せではなく、会社として責任を取ること。十分な事前調査、分かりやすい作業指示書を作成し、安全管理に関する責任者を明確することが必要であり、改正を機に安全優先の雰囲気を各社に根付かせることが大事」と訴えた。



労災ゼロへの決意を新たにした安全大会＝14日、富山市内

続いて、安全標語受賞

作品を発表。齋藤会長から受賞者に表彰状、記念品が贈呈された。今回は応募39作品の中から、最優秀賞作品に島田智弘氏（富山総合ビルセンタ）の『ガラス作業 慣れと油断とルール無視 確認しよう 作業手順』が選ばれた。

その後、富山労働局の浜田実労働安全専門官が講演。窓ガラスの清掃作業における災害防止対策などを説明した。以下、最優秀賞以外の受賞作品

（敬称略）

【優秀賞】

▽中村稔（北栄産業）

『高所作業 「必ず2人」が 合言葉』

▽高橋宗生（法美社）

『小さな油断で 生まれる災害 小さな努力で 生み出す安全』

▽田中茂（タナカビル美装）

『高所に潜む危険箇所 見つける力が命綱』

【佳作】

▽山方達也（石川ビルサービス）

『安心は 職場ぐるみの習慣で「安全第一」忘れずに！』

▽前田昌利（法美社）

『慣れ作業 初心に帰り 慎重作業』

▽森川泰樹（法美社）

『安全対策にやり過ぎはなし 万が一でもゼロじゃない』

▽平田勝弘（富山総合ビルセンタ）

『必ず掛け』

齋藤会長から表彰状を受け取る受賞者



てこの目で確認
▽宮島宣子（不二ビル）
『命綱 人の思いもつなごう』